新春座談会

「ふるさと再発見」を目指して

かつて造船の町として繁栄していた相生市。造船の衰退と共に、町も萎縮していく傾向の感は否めません。

ふるさと相生に誇りを持ってもらえたらと、数年前から活動をしていた人たちが、昨年NPO法人として「相生いきいきネット」を立ち上げました。

これまでの活動や今後の展望について、メンバー4人の方に語っていただきました。

自己紹介をお願いします

橋本　私は、相生市相生出身です。会社人間だったのですが、定年後、自治会長をしてから、地域の活動などに興味を持ちました。

吉川　相生市旭出身です。相生市活性化協議会の公募委員になって、生まれ育った相生のことを意外と知らないことに気づき、塾に入って勉強しようと「あいおいまちづくり塾」の塾生になりました。

佐々木　相生市都波出身です。子育てをひと段落した頃、知人に声を掛けて頂いたのがきっかけです。相生のことがもっと勉強できたらいいなと思い入塾しました。

飯尾　相生市若狭野町出身です。以前は他市にいたんでいましたが、子どもが幼稚園の頃、相生市にUターンしてきました。学校のPTAの係りなどをしましたが、途中から地域の輪の中になかなか溶け込めない容易ではなく、これからずっと住む相生市の現況が知りたいと思うようになりました。地域との関わりも大事にしながら、これからずっと住む場所や人脈を作っておきたいなあと、学びの場を求めて参加しました。

現在はどういった活動をされていますか

橋本　「西国街道（まむかしし相生とその周辺）」といういわゆる在庫品を企画し、2月の公開に向けて現在準備に追われています。

相生には大宰府から京都まで向かう「西国街道」が通っており、先日その古地図の複製を山口县文書館に譲り受けることが出来ました。それを紐解いていくと、当時の街道や町の様子など、知らなかったことがたくさん出てきました。全く景色の変わっている。

橋本　「元気人名鑑」の発行や、3年前に開催した「元気人まつり」で、様々な人と出会ったことですね。新聞やライフ紙を参考にリストを作り、一人ひとり参加してだきるようにお願いしました。紙の上だけでなく、実際に触れ合えたことが良かったです。

佐々木　貴重な出会いがあったことが良かったです。相生いきいきネットの活動を通じて、とっても良い出会いがいっぱいありました。得るものばかりでとても多かったです。

飯尾　今の時代は、住んでる町の市民活動をしている事が社会生活でのコミュニケーションのきっかけになっています。

私はこの活動に参加している事を、コミュニケーションツールにしていますよ。「まちづくり」の話は全国どこに行っても絶対みんな関心事ですよ。仕事先でも、その話で結構様々な人と盛り上がることが出来、会話が広がりますね。

今までの活動で、良かった事はありますか

吉川　たくさん得るものがありましたよ。知らないだけで、地元にはいいところがいっぱいある。見逃しているだけという物もあります。「行って見て体験する」というフィールドワークを行ない、地元に住んでいるおばあさんの話を聞きました。仕事や農作業で使う道具を説明してもらい、ここにあるものには何一つ無駄なものはない。全てが地元の宝物なんだということがわかった。心の中がほわっと温かくなりましたよ。相生を良くしたいと始めた活動でしたが、自分の為にもなってるかな。

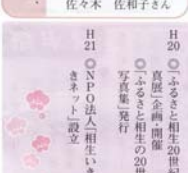
古川　典子さん

相生を良くしたいと始めた活動でしたが、自分の為にもなっています。

佐々木　この活動を盛りたてていくには、もっと仲間が増えて欲しい。皆それぞれが会のためにできる事をしています。貢献の仕方が違っていますが、町のためが好き。

飯尾　せっかく企画したイベントに集客が少なくて、残念だったことがありますね。

吉川　メンバーの皆さんが、それぞれとても忙しいことでしょうか、家庭人でもあり、仕事もされてる、また親の介護をしている人もいます。そして、「いきいきネット」の他にも、他団体やグループで活動されている方が多いので、時間のやりくりが大変だと思います。活動も必ず全員が出ては来れないのですが、各人が都合をつけて、できる事をすることで、会の活動が進んで行ってると思いますよ。



佐々木　佐和子さん

相生を良い所を知ってもらって、人の輪を広げたい。

相生いきいきネット

【これまでの歩み】

平成15年に相生市役所に新設された「まちづくり推進課」。その呼びかけで同年10月に「まちづくり塾」が開講された。当初は同課の主導で講師を招いて、塾生は地域の活性化や地域資源の発掘などのカリキュラムを学び、その後それぞれ興味のある課題をグループごとに勉強していた。平成18年には、塾生がオリジナルカリキュラムを作成、履修。卒業生らが核になり、塾生以外の有志も加って、まちづくり活動を通じて相生市の活性化を目指すNPO法人「相生いきいきネット」を設立した。市内で活躍する元気人のネットワーク作りや、相生の文化・歴史に関するアーカイブの作成、子育て支援や町の情報発信などを目指し、活動中。現在会員15名。

【これまでの活動】

H16　○こどもイベントカレンダー発行開始

H17　○ホームページ「相生いきいきネット」開設

H18　○「あいおい元気人まつり」企画開催
　　○「あいおい元気人名鑑」発行
　　○相生わんわんパトロール」開始

H19　○「私の好きな相生写真展」企画・開催

H20　○ふるさと相生20世紀写真展」企画・開催
　　○ふるさと相生の20世紀写真集」発行

H21　○NPO法人「相生いきいきネット」設立

今後の夢を教えてください

佐々木　相生の宝物を発掘して、自分のふるさとにはこんな良いところがあるということを、市内だけでなく他市の人たちにも見て欲しい。展示会などをして見て頂いてもらって、次世代に繋がっていくといいなあと思っています。

飯尾　わが町相生の「営業」をやってきたいです。アナログチェックとでも言いましょうか…いいなあと思ったグループや人を相生に招いて、情報交換をしたい。来年からまた「わいがや」をやりたいですね。誰でも参加出来て、わいわいと話して情報交換をする会ですから、気軽に皆さんに来て欲しい。

吉川　相生市には相生の情報を発信しているメディアが幾つかあります。インターネットですが「相生らじお」は電波で、「コスモスムービー」は印刷物で、異なる手段でそれぞれ情報発信をしている。それぞれを共有しあう情報交換の仲立ちに、この相生いきいきネットがなれたら。「相生メディア」というような連絡会が出来て、協力し合って、町の情報がもっとやり取りできるといいなあと思っています。

橋本　ホームページの「相生いきいきネット」のコンテンツをもっと充実させて、誰もが興味を持つサイトにしたいですね。それには、インターネットの容量の問題迎なども多かります。

地域別に「お祭り今昔」などとして、写真祭などもいいかな。自分の地域では当番や世話が忙しくて、自分の地域以外の市内のお祭りを見たことがない人が意外と多いので、面白いと思うんですよね。ちょっと切り口を変えたら、いろんなことが出来そうです。

また、前回やって好評だった写真展の第2弾や写真集の発行などもやってみたいですね。

相生いきいきネットホームページ http://www.econet.ne.jp/~aioi-iki-iki/

飯尾　洋さん

人との交流を通じて、わが町のことを市外の人にもっと知ってほしい。

「相生ライフ」は、スポンサー様の広告料によって運営され、皆様のお手もとに無料配布しております。ご利用は「きて何がしたいという人のまりですから楽しく和気あいあいとした雰囲気でやっています。

橋本　相生いきいきネット

「相生ライフ」は20,000部発行、フルカラー印刷でお届けしています。広告のお申し込みはお早めにどうぞ。